

C_o合金を使用したNアレルギーの開発
(事前評価)

質問・意見

回答

A委員	Nが原因のアレルギーというものは、現在どのぐらい問題になっているのですか？	医者側からの報告により、Nが原因のアレルギーの報告件数が一番多い状況になっています。
F委員	理美容業界ではNアレルギーが問題になっているのですか？	問題は具体的には出ていないのですが、海外に輸出する場合、特にドイツなどではNが入っているかどうか基準となっていますのでそれに対応するという形になります。
	この合金の比重は、現在はさみとして用いられている材料と比較してどうなのですか？	ほぼ同じです。切った時の感覚もそれほど変わりありません。
	理美容はさみは長時間使用されることを考えると、新材料に置き換わった場合、重さなど使い勝手の問題に関してはどうするのですか？	重さについてはデザイン的な面で、例えば強度が足りない部分を削るなど形状を工夫することで対応できると考えています。また、材料の重さがそれほど問題になるものではありません。
B委員	金属アレルギーが問題になる製品はたくさんあると思いますが、なぜ今回の研究では理美容はさみを選んだのですか？	今回の最終目的は医療用はさみなのですが、いきなり医療用ということになりますと技術的な問題もありますので、共同研究企業が理美容はさみを作成しているということもあり、まずそこでノウハウを蓄積したうえで、医療用に取り組みうということになっております。
	医療用以外にも時計のバンドなど、他の分野については検討しなかったのですか？	コストの問題が出てきます。理美容はさみは単価が高いものですので、材料の価格が上がったとしても製造費などでカバーできることも考え、付加価値が高いということも選んだ理由です。
	材料費はステンレスと比較してどのぐらいですか？	おそらく4~5倍程度になるのではないかと思います。
F委員	ファインセラミックスとの競合も考えられますがどうなのですか？	セラミックスの場合、繰り返し疲労に対して弱いとの意見がありますし、小物製作が難しいと言う面もありますので、そのあたりで金属材料の優位性を出せれば競合はないのではと考えられます。

(所長コメント) 岩手大学からのシーズであり、応用範囲もかなり考えられますので、それも含めて将来的には大きな事業になる可能性もあります。今後もそのような面も含め検討を継続していきます。